

4 文化芸術、スポーツの振興を図るまち

総合基本計画関連ページ

第5章施策の体系

4 文化芸術、スポーツの振興を図るまち 210ページ

附属資料

1 基本計画（第5章）施策の体系 政策指標における現状値 283ページ

基本施策4-① 文化芸術活動の促進

26市民文化祭の参加者を増やします

市民文化祭見学者数 12,625人（令和元年度時点）

【評価対象事業】

64市民文化祭事業 市民会館・公民館

29文化・芸術の鑑賞の機会を増やします

市内公募展見学者数 6,641人（令和2年度時点）

武藤順九彫刻園見学者数 12,433人（令和2年9月）

【評価対象事業】

65文化振興事業 企画政策課

30文化・芸術の活動をする人を増やします

市民文化祭出展者数 574名（令和元年度時点）

【評価対象事業】

64市民文化祭事業 市民会館・公民館

市内公募展応募人数 46名（令和2年度時点）

【評価対象事業】

65文化振興事業 企画政策課

基本施策4-② 文化財の保護・調査・活用

31あきしま郷土芸能まつり参加者数を増やします

あきしま郷土芸能まつり来場者数 49,000人（令和元年度時点）

【評価対象事業】

66観光産業振興推進事業（112再掲） 産業活性課

郷土資料室・郷土資料展示室入室者数 47,028人（令和2年時点）

【評価対象事業】

67文化財保護事業 アキシマエンシス管理課

基本施策4-③ スポーツ・レクリエーションの振興

33週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合を増やします

週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合 44.2%（令和2年時点）

【評価対象事業】

68スポーツ推進委員事務 スポーツ振興課

69スポーツ団体補助事業 スポーツ振興課

70スポーツ・レクリエーションイベント事業 スポーツ振興課

71総合スポーツセンター管理運営事務 スポーツ振興課

72みほり体育館管理運営事務 スポーツ振興課

73運動施設管理運営事務 スポーツ振興課

34スポーツ・レクリエーションを通して、高齢者の外出機会を増やし、健康増進を図ります


イキイキ・ニコニコ介護予防教室 開催 47回・参加者数 677人（令和2年時点）

【評価対象事業】



74高齢者各種教室事業 介護福祉課

基本施策4-④ 図書館活動の充実	
35市民一人当たりの図書貸出冊数を増やします	
市民一人当たりの図書貸出冊数 5.6冊（令和2年時点）	
市民図書館の登録者数 32,868人（28.9％）（令和2年度末時点）	
【評価対象事業】	
75市民図書館管理運営事務	アキシマエンス管理課
基本施策4-⑤ 生涯を通じた学習活動の推進	
37アキシマエンス入館者を増やします	
アキシマエンス入館者数 289,004人（令和2年度時点）	
【評価対象事業】	
76アキシマエンス管理運営事務	アキシマエンス管理課
38生涯学習講座など活動の充実を図り、参加者の学習意欲を広げます	
生涯学習講座などの参加者数 社会教育課主催事業 330人（令和元年度時点）	
【評価対象事業】	
77生涯学習事業	社会教育課
市民会館・公民館主催事業 1,936人（令和元年度時点）	
【評価対象事業】	
78学級・講座等事業	市民会館・公民館



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		市民文化祭事業										事業開廃年度		継続	
基本データ	予算科目	款	10	項	04	目	07	細目	005	細々目	01	部	生涯学習部	課長	立川 豊
	款名	教育費										課	市民会館・公民館	担当	森山 陽子
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-① 文化芸術活動の促進 市民文化祭の参加者を増やします										係	事業	電話	042-544-1407
	根拠法令等	文化芸術基本法,社会教育法,市文化芸術振興条例,文化芸術の振興に関する基本方針,市民文化祭開催要項										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	SDG's17の目標	 4 質の高い教育をみんなに													
事業の概要	事業概要	対象 市民・市民団体					目的 文化芸術振興は、心豊かな活力ある社会形成のためには重要な意義がある。市民に日頃の文化・芸術活動の成果を発表できる機会を提供し、生きがいづくりや市民相互の交流を図る。								
	実施内容	○10月7日～11月3日（14日間） ○主催：昭島市・昭島市教育委員会 主管：昭島市民文化祭運営委員会 ○参加：27部門（63団体） ○演奏・演芸（歌謡、民謡、芸能、邦楽、フラダンス、合唱、音楽、ジョータイム、器楽、朗読、人形劇、落語） ○展示（手工芸、平和、陶芸、華道、俳句、山野草、盆栽、短歌、書道、科学、美術、写真）○対局・その他（将棋、囲碁、茶会）													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	2,385	2,600	2,563	3,283								
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	2,385	2,600	2,563	3,283								
	一般職員人件費		千円	11,452	11,592	9,936	10,207								
	人工数		人	1.40	1.40	1.20	1.20								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	13,837	14,192	12,499	13,490								
	基本施策の現状値														
市民文化祭見学者数 12,625人							令和元年度	9,566人	10,695人						
文化・芸術の活動をする人を増やします 市民文化祭出展者数 574名							令和元年度	460人	576人						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	主催は市及び教育委員会であるが、運営は参加団体から選出された市民で構成される文化祭運営委員会へ補助金を交付し実施している。開催まで会議を重ね、日程の調整から委託金の管理、開会式の運営、のぼり旗の設置、会計収支の監査など市民委員が企画・運営等を行っているため、現状の方法が妥当である。											
	実施方法の効率性		3	文化祭参加団体の説明会から終了後の反省会まで5回の運営委員会を行い、その他、役員会や会計監査を実施した。発表や展示のPRは各団体もポスター・チラシの作成、配布など自主的に行っている。毎年文化祭を楽しみにしている市民も多く、運営は効率的に実施できた。											
	達成度（基本施策の実績）		3	参加する団体は63団体及び参加者は10,695人（1日平均764人）にのぼり、多くの市民に親しまれている。一般市民である出展者、出演者が、日頃の文化芸術活動等の成果を発表する機会を提供でき、好評を得ている事業であるため、達成度は高い。											
	DXへの取組		検討中				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
		総合評価		令和5年度も開会式のみ行い、運営の負担が少ない方法で実施した。文化祭への参加者、出品者数は新型コロナウイルス感染症拡大以前の令和元年度に近づく回復している。また、部門ごとの代表者による運営委員会で実施する方法は合理的に行われており、参加者の高齢化により運営委員の担い手が少なくなっている等の課題はあるが、参加する市民にとって、日頃の活動の成果を発表できる場であるため、今後も工夫しながら継続して開催していきたい。令和6年度は文化祭チラシの市内全戸配布を行いPRの強化を行う予定である。											



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		文化振興事業										事業開廃年度		-	
														継続	
基本データ	予算科目	款	02	項	01	目	01	細目	019	細々目	01	部	企画部	課長	村山 純
	款名	総務費										課	企画政策課	担当	中村 優子
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-① 文化芸術活動の促進 市民文化祭の参加者を増やします										係	企画調整担当	電話	内線 2374
	根拠法令等	文化芸術基本法										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	SDG's17の目標	 4 質の高い教育をみんなに													
事業の概要	事業概要	対象					目的								
	実施内容	文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携を図り、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用するなど、文化芸術施策を総合的かつ計画的に推進する。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	3,300	3,540	3,450	3,540								
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	3,300	3,540	3,450	3,540								
	一般職員人件費		千円	818	828	828	851								
	人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	4,118	4,368	4,278	4,391								
	基本施策の現状値										(時点)	R4実績	R5実績	R6実績	
市内公募展見学者数 6,641人										令和2年度	8,212人	6,382人			
武藤順九彫刻園見学者数 5,077人										令和2年9月	12,454人	13,682人			
文化・芸術の活動をする人を増やします 市内公募展応募人数 46名										令和2年度	55人	60人			
事業の評価	実施方法の妥当性		3	市内公募展、武藤順九彫刻園ともに多くの市民が来場しており、実施方法として妥当と考える。											
	実施方法の効率性		3	武藤順九彫刻園見学者数、市内公募展応募人数は増加傾向にある。											
	達成度（基本施策の実績）		3	武藤順九彫刻園見学者数、市内公募展応募人数は微増であり、ほぼ横ばいである。市内公募展見学者数は減少したが、前年度は別部署の事業の関係で同時期に会場を訪れる人が極端に多かったことが要因である。											
	DXへの取組		検討中				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
	 達成度（基本施策の実績）		総合評価		文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用するなど、文化芸術施策を総合的かつ計画的に推進できている。 今後は文化芸術推進基本計画推進委員会での議論も踏まえ、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携を図っていく。										



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		観光産業振興推進事業										事業開廃年度		平成22年度	
														継続	
基本データ	予算科目	款	07	項	01	目	02	細目	008	細々目	01	部	市民部	課長	森田 晃
	款名	商工費										課	産業活性化課	担当	鈴木 佳恵
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-② 文化財の保護・調査・活用 あきしま郷土芸能まつり参加者数を増やします										係	産業振興係	電話	内線 2282
	根拠法令等	一般社団法人昭島観光まちづくり協会補助金交付要綱 あきしま「郷土芸能まつり」事業補助金交付要綱										個別計画		昭島市産業振興計画（平成29年度～令和8年度）	
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり） <input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）	
事業の概要	事業概要	対象					目的								
	実施内容	昭島観光まちづくり協会（あきしま郷土芸能まつり実行委員会） 観光まちづくり協会が観光事業や市のPR事業を円滑に行えるよう事業費を補助する。また、郷土芸能まつり実行委員会があきしま郷土芸能まつりを円滑に開催できるよう事業費を補助する。また、昭島市観光ガイドの作成を委託する。 *観光まちづくり協会：観光まちづくり協会の運営（観光案内所の運営を含む。）に要する経費を補助。観光案内所イベント、フォトコンテスト（応募数335点）、町あるき（全11回）、昭島ロケーションサービス事業（撮影実績94回）、観光案内所運営（来所数14,729人） *郷土芸能まつり：あきしま郷土芸能まつりの開催に要する経費を実行委員会（事務局：観光まちづくり協会）に補助。4年ぶりの屋外開催で実施。 *昭島市観光ガイドの作成（25,000部）													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		（単位）	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	24,497	28,060	28,060	27,560								
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円		1,000	1,000									
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	24,497	27,060	27,060	27,560								
	一般職員人件費		千円	1,636	1,656	1,656	1,701								
	人工数		人	0.20	0.20	0.20	0.20								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	26,133	29,716	29,716	29,261								
	基本施策の現状値														
あきしま郷土芸能まつり来場者数 49,000人							令和元年度	方法を変更し実施	規模を縮小しての屋外開催						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	平成22年度に設立された観光まちづくり協会は、昭島の観光事業や市の魅力をPRするためには必要不可欠であり、協会の公益事業の運営に要する経費のうち、管理運営費について補助金を交付している。また、あきしま郷土芸能まつりを円滑に開催するためには事業費の補助が必要である。											
	実施方法の効率性		3	両補助金とも、事業実施前に事業計画の提出を受け補助金額を決定し、補助金を交付。事業終了後、実績報告書が提出されている。内容の審査を行い、補助金額を確定し、余剰金が発生している場合は返還している。											
	達成度（基本施策の実績）		3	あきしま郷土芸能まつりについて、前夜祭及び飲食の模擬店を設けることはできなかったが、4年ぶりに屋外開催で実施した。来場者数を現状値と比較することは困難だが、両補助金の交付により、市内外からの集客及び昭島の魅力の発信、市民の郷土への愛着心と地域のふれあいが高まった。また、昭島市観光ガイドを作成し市内の観光名所を市内外に配布し、広く情報提供を行った。											
	DXへの取組		予定なし			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	（前年度 現状を維持 ）→ E 現状を維持											
			総合評価	あきしま郷土芸能まつりについて、令和5年度は出演者及び観覧者等の安全・安心を考え、密を避けるため前夜祭の開催及び飲食の模擬店を設けることはできなかったが、4年ぶりに屋外開催で実施し、30,000人の来場者となった。令和5年度は昭島観光マップを作成し、市内外に市内の魅力を発信した。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、観光イベント等も再開し観光及び地域活性化を推進した。令和6年度以降も、あきしま郷土芸能まつりを含めた観光事業全般について、引き続き市の魅力発信を行っていく。											



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		文化財保護事業								事業開廃年度		継続	
基本データ	予算科目	款	10	項	04	目	03	細目	002	細々目	01	部	生涯学習部
	款名	教育費								課	アキシマエンス管理課	担当	勝野 玄隆
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-② 文化財の保護・調査・活用 郷土資料室の見学者を増やします								係	文化財係	電話	042-519-5717
	根拠法令等	文化財保護法・昭島市文化財保護条例								法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	SDG's17の目標	 4 質の高い教育をみんなに											
事業の概要	事業概要	対象				目的							
	実施内容	市民、文化財の所有者、管理者及び保存団体（保持者）等 文化財の保護・保存・継承をするとともに、多くの方へ文化財を公開することによって、文化財保護思想の高揚・普及・啓発を行い、郷土資料室の見学者増を図る。 ・文化財めぐりや文化財講演会等、文化財への理解促進及び次世代への継承に繋がる事業を開催。 ・指定文化財の保護及び保存のため事業、後継者育成に係る補助を実施。 ・アキシマエンス郷土資料室において、市内で発掘された土器や化石等、分野ごとに特化した5つのテーマで企画展を実施。文化財の理解が深まるICTを活用したコンテンツを提供。											
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞					
	直接事業費		千円	4,436	4,463	4,445	1,510	【その他特定財源】 ・各種印刷物頒布代金 ・市民総合賠償補償保険金 ・地域伝統芸能等保存事業助成金					
	財源内訳	国庫支出金	千円										
		都支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他特定財源	千円	1,980	1,768	1,090	395						
		一般財源	千円	2,456	2,695	3,355	1,115						
	一般職員人件費		千円	2,454	4,968	4,968	5,104						
	人工数		人	0.30	0.60	0.60	0.60						
	再任用職員人件費		千円	1,380									
	人工数		人	0.30									
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円										
	人工数		人										
	総事業費		千円	6,890	9,431	9,413	6,614						
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績		
郷土資料室・郷土資料展示室入室者数 47,028人							令和2年度	39,675人	40,103人				
事業の評価	実施方法の妥当性		3	文化財保護思想の高揚・普及・啓発につながるよう毎年テーマや内容を少しずつ変えることで、身近な文化遺産から郷土あきしまをより深く知ってもらえるよう事業を実施した。									
	実施方法の効率性		3	アキシマエンスのシンボルであるアキシマクジラ原寸大骨格レプリカを含め、企画展の内容を工夫し途切れることなく開催し、ICTを活用したコンテンツを体験することで、文化財の保護へつながる成果をあげることができたと考える。									
	達成度（基本施策の実績）		1	郷土資料室・郷土資料展示室入室者数 47,028人 →40,103人（14.7%減）									
	DXへの取組		予定なし			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし					
	個別評価	合計点 7	今後の方向性		(前年度 現状を維持) → E 現状を維持								
			総合評価		文化財保護事業においては、指定文化財に対する補助を通じて保護・保存するとともに各種事業、郷土資料室企画展の実施等で広く文化財保護思想の普及に努め、市民共有の財産として次世代に伝えていくことが重要である。文化財の保護・調査・活用をより活性化していくため、引き続き適切な取組を実施する。								



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		スポーツ推進委員事務								事業開廃年度		-			
												継続			
基本データ	予算科目	款	10	項	05	目	01	細目	003	細々目	01	部	生涯学習部	課長	吉村 久実
		款名	教育費								課	スポーツ振興課	担当	星野 敏明	
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-③ スポーツ・レクリエーションの振興 週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合を増やします								係	スポーツ振興係	電話	内線 2247		
	根拠法令等	スポーツ基本法 スポーツ推進委員に関する規則								個別計画		スポーツ推進計画 令和4年度～令和8年度			
	SDG's17の目標	 3 すべての人に健康と福祉を								法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
事業の概要	事業概要	対象				目的									
		スポーツ推進委員事務				スポーツ推進委員活動を円滑に進める。									
	実施内容	スポーツ推進委員事務の報酬、旅費、貸与品、スポーツ安全保険加入等の事務処理及び活動支援。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	2,512	2,652	2,467	2,977								
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	2,512	2,652	2,467	2,977								
	一般職員人件費		千円	4,090	4,140	4,140	4,253								
	人工数		人	0.50	0.50	0.50	0.50								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	6,602	6,792	6,607	7,230								
	基本施策の現状値													(時点)	R4実績
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合 44.2%							令和元年度	調査未実施	45.0%						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	各種イベント運営の協力や自主事業等を実施していることから妥当であると考えられる。											
	実施方法の効率性		3	対面にて定例会を実施しているが、出張等も重なった委員からオンラインでの参加の打診がありオンラインでの参加も行ったが、全員でのオンライン会議の開催は困難であると考えられる。											
	達成度（基本施策の実績）		3	令和5年度実施の市民意識調査結果より											
	DXへの取組		検討中				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点	9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持										
			総合評価		新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、参加制限等も設けずにイベントを再開することが出来たが参加者数については、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較すると減少傾向となっている。 また、他市との交流についても積極的に提案してきており、交通費の増額が必要となっている。										



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		スポーツ団体補助事業										事業開廃年度		継続		
基本データ	予算科目	款	10	項	05	目	01	細目	008	細々目	01	部	生涯学習部	課長	吉村 久実	
		款名	教育費										課	スポーツ振興課	担当	星野 敏明
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-③ スポーツ・レクリエーションの振興 週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合を増やします										係	スポーツ振興係	電話	内線 2247	
	根拠法令等	スポーツ基本法 昭島市スポーツ団体補助金交付要綱										個別計画		スポーツ推進計画 令和4年度～令和8年度		
	SDG's17の目標	 3 すべての人に健康と福祉を										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
事業の概要	事業概要	対象 市内スポーツ団体					目的 市民の自主的なスポーツ活動を補助し、地域スポーツの発展を図る。									
	実施内容	次の団体に補助金を交付した。 スポーツ協会（2,430,000円）、リトルリーグ野球協会（100,000円）、少年野球連盟（100,000円）、早朝軟式野球連盟（100,000円）、フットベース協会（50,000円）、昭島くじらスポーツクラブ（250,000円）														
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞								
	直接事業費		千円	3,031	3,030	3,030	2,980									
	財源内訳	国庫支出金	千円													
		都支出金	千円													
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円													
		一般財源	千円	3,031	3,030	3,030	2,980									
	一般職員人件費		千円	818	828	828	851									
	人工数		人	0.10	0.10	0.10	0.10									
	再任用職員人件費		千円													
	人工数		人													
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円													
	人工数		人													
	総事業費		千円	3,849	3,858	3,858	3,831									
	基本施策の現状値															(時点)
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合 44.2%							令和元年度	調査未実施	45.0%							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	昭島市スポーツ団体補助金交付要綱に基づき、補助金を支出した。												
	実施方法の効率性		3	市のスポーツ団体の発展を図るための補助事業であり、各団体において毎年総会を開催し、予算・決算及び事業計画を報告させることで効率的な運営に努めている。												
	達成度（基本施策の実績）		3	各団体の活動が、市民のスポーツ活動普及に繋がっていると考えられる。												
	DXへの取組		検討中				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持												
		総合評価	自主財源の確保や効率的な組織運営等についての指導等も実施し最終的には補助金を必要とせずに運営を行えるよう指導を行う必要があると考えているが、現状では困難な状態であると考えられる。													



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名			スポーツ・レクリエーションイベント事業								事業開廃年度		継続		
基本データ	予算科目	款	10	項	05	目	01	細目	011	細々目	01	部	生涯学習部	課長	吉村 久実
		款名	教育費								課	スポーツ振興課	担当	星野 敏明	
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-③ スポーツ・レクリエーションの振興 週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合を増やします								係	スポーツ振興係	電話	内線 2247		
	根拠法令等	スポーツ基本法								個別計画		スポーツ推進計画 令和4年度～令和8年度			
	SDG's17の目標	 3 すべての人に健康と福祉を								法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	市民				老若男女・障害のあるなしに関わらず誰でも参加ができるイベント等を実施し、市民のスポーツ実施率の向上を図る。									
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	110	506	542	395								
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円		189	168									
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円			30									
		一般財源	千円	110	317	344	395								
	一般職員人件費		千円	818	1,656	1,656	1,701								
	人工数		人	0.10	0.20	0.20	0.20								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	928	2,162	2,198	2,096								
	基本施策の現状値						(時点)					R4実績	R5実績	R6実績	
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合						44.2% 令和元年度	調査未実施	45.0%							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	個別のイベントを同一科目で実施したことにより消耗品等の支出削減に繋がっていると考えられる。											
	実施方法の効率性		3	個別のイベントを同一科目で実施したことにより効率性があがったと考えられる。											
	達成度（基本施策の実績）		3	令和5年度実施の市民意識調査結果より											
	DXへの取組		予定なし			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点	9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持										
			総合評価		昨年度より個別のイベントを同一科目で実施することにより業務の効率化を図ることに繋がったと考えられる。										



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		総合スポーツセンター管理運営事務								事業開廃年度		-			
												継続			
基本データ	予算科目	款	10	項	05	目	02	細目	001	細々目	01	部	生涯学習部	課長	吉村 久実
	款名	教育費										課	スポーツ振興課	担当	星野 敏明
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-③ スポーツ・レクリエーションの振興 週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合を増やします										係	スポーツ振興係	電話	内線 2247
	根拠法令等	スポーツ基本法 昭島市総合スポーツセンター条例										個別計画		スポーツ推進計画 令和4年度～令和8年度	
	SDG's17の目標	 3 すべての人に健康と福祉を										法令による事業 実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
事業の概要	事業概要	対象		目的											
	実施内容	市民・団体等 総合スポーツセンターにおいて、スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する。 施設の管理運営及び各種スポーツ教室を民間委託により実施することで効率的な運営を図るとともに、スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を推進する。 【団体利用】(6,738件、94,935人)【個人利用】81,537人、【駐車場利用台数】64,827台													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	445,816	302,520	249,595	256,816	【その他特定財源】 ・行政財産使用料 ・総合スポーツセンター使用料 ・公共施設整備等資金 積立基金繰入金 ・緑化推進基金繰入金 ・庁舎等光熱水費 ・複写機利用料 ・各種講習会等負担金 ・電話料							
	財源内訳	国庫支出金	千円	139,000											
		都支出金	千円	90,500	3,000	3,000	20,500								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	37,117	107,690	54,673	68,752								
		一般財源	千円	179,199	191,830	191,922	167,564								
	一般職員人件費		千円	1,636	1,656	1,656	1,701								
	人工数		人	0.20	0.20	0.20	0.20								
	再任用職員人件費		千円	3,220	3,241	3,241	3,346								
	人工数		人	0.70	0.70	0.70	0.70								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	447,452	304,176	251,251	258,517								
	基本施策の現状値												(時点)	R4実績	R5実績
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合 44.2%							令和元年度	調査未実施	45.0%						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	運営方法について指定管理者制度の導入も検討されているが、施設老朽化が進んでおり、現状のままとなっている。											
	実施方法の効率性		3	大規模工事を実施していないため支出については減少しているが、修繕箇所が増加傾向となっている。											
	達成度（基本施策の実績）		3	令和5年度実施の市民意識調査結果より											
	DXへの取組		検討中				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
		総合評価	施設の老朽化が進行しており、予算要求時では想定していない修繕なども発生していることから延命措置だけではなく建替えについても検討が必要な時期となっていると考えられる。 また建替えにあたっては、PFI等の導入等財源確保についても併せて検討する必要があると考えられる。												



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		みほり体育館管理運営事務								事業開廃年度		-			
												継続			
基本データ	予算科目	款	10	項	05	目	02	細目	002	細々目	01	部	生涯学習部	課長	吉村 久実
	款名	教育費										課	スポーツ振興課	担当	星野 敏明
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-③ スポーツ・レクリエーションの振興 週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合を増やします										係	スポーツ振興係	電話	内線 2247
	根拠法令等	スポーツ基本法 昭島市みほり体育館条例										個別計画		スポーツ推進計画 令和4年度～令和8年度	
	SDG's17の目標	 3 すべての人に健康と福祉を										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
事業の概要	事業概要	対象 市民・団体等				目的 みほり体育館において、スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する。									
	実施内容	<<体育館>> 【団体利用】（764件、6,171人）【個人利用】843人 <<研修室>> 206件、940人													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円	6,868	34,738	34,882	25,971	【その他特定財源】 ・みほり体育館使用料 ・庁舎等光熱水費 ・雇用保険料							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円		18,000	12,000	14,950								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	2,194	1,672	1,269	1,797								
	一般財源	千円	4,674	15,066	21,613	9,224									
	一般職員人件費		千円	2,454	2,484	2,484	2,552								
	人工数		人	0.30	0.30	0.30	0.30								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	9,322	37,222	37,366	28,523								
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績				
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合 44.2%							令和元年度	調査未実施	45.0%						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	運営方法の見直しとして指定管理者制度の導入も検討したが、他の運動施設との兼ね合いから現在の方法とした。											
	実施方法の効率性		3	事業費は床改修工事や空調機設置工事のため増額している。											
	達成度（基本施策の実績）		3	令和5年度実施の市民意識調査結果より											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
		総合評価	令和5年度に空調機設置工事を実施したことにより、スポーツ振興課所管施設では市内で唯一の空調設備を有する屋内運動施設となっており、昨今の夏季期間における高温時にも安全安心に利用が出来る施設となっている。 運営方法については、直営にて実施しているが、総合スポーツセンター等と併せて指定管理者制度等の導入も検討する必要があると考えられる。												



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		運動施設管理運営事務										事業開廃年度		-	
												継続			
基本データ	予算科目	款	10	項	05	目	03	細目	001	細々目	01	部	生涯学習部	課長	吉村 久実
	款名	教育費										課	スポーツ振興課	担当	星野 敏明
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-③ スポーツ・レクリエーションの振興 週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合を増やします										係	スポーツ振興係	電話	内線 2247
	根拠法令等	スポーツ基本法 昭島市都市公園条例										個別計画		スポーツ推進計画 令和4年度～令和8年度	
	SDG's17の目標	 3 すべての人に健康と福祉を										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
事業の概要	事業概要	対象					目的								
	実施内容	市民・団体等 市内屋外運動施設において、スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する。 市内の屋外運動施設を良好な状態に保つため、維持管理作業を民間に委託して実施している。 <<利用実績>> 昭和公園【市民球場（198件、645回、21,075人）、陸上競技場（376回、52,447人）、テニスコート（4,237回、28,042人）】大神公園（1,907回、73,604人）、くじら運動公園（6,565回、141,800人）、美ノ宮公園（396回、5,623人）													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考<特財名称等>							
	直接事業費		千円	97,668	67,490	59,384	84,558	【その他特定財源】 ・昭和公園運動施設等使用料 ・緑化推進基金繰入金 ・庁舎等光熱水費 ・施設命名権料							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	29,955			11,500								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	20,975	29,430	32,343	33,450								
		一般財源	千円	46,738	38,060	27,041	39,608								
	一般職員人件費		千円	4,090	4,140	4,140	4,253								
		人工数	人	0.50	0.50	0.50	0.50								
	再任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	総事業費		千円	101,758	71,630	63,524	88,811								
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績				
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合 44.2%							令和元年度	調査未実施	45.0%						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	運営方法の見直しとして指定管理者制度の導入も検討したが、他の運動施設との兼ね合いから現在の方法とした。											
	実施方法の効率性		3	委託により実施していることで職員の負担軽減に繋がり、効率性が上がっていると考えられる。											
	達成度（基本施策の実績）		3	令和5年度実施の市民意識調査結果より											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 コスト改善に向けて実施方法を見直し) → B コスト改善に向けて実施方法を見直し											
		総合評価	市民球場は開設から10年を超えており、大規模修繕が今後必要となってくる施設になる。また、他の施設も経年劣化による修繕も実施する必要がある、指定管理者制度の導入や料金改定等も検討しなければならないと考えられる。												



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		高齢者各種教室事業								事業開廃年度		平成24年度		
												継続		
基本データ	予算科目	款	03	項	01	目	04	細目	014	細々目	01	部	保健福祉部	
	款名	民生費									課	介護福祉課	担当	小森 裕介
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-③ スポーツ・レクリエーションの振興 週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合を増やします									係	高齢者支援係	電話	細井 孝洋 内線 2159
	根拠法令等	老人福祉法第13条、昭島市高齢者イキイキ・ニコニコ介護予防事業実施要綱									個別計画		第8期昭島市介護保険事業計画（R3～R5）	
	SDG's17の目標	 3 すべての人に健康と福祉を												
事業の概要	事業概要	対象				目的								
	実施内容	65歳以上で介護保険における要介護及び要支援の認定を受けていない市民				介護予防や健康増進を図るための各種教室の実施により、介護予防に寄与し、仲間づくりや高齢者の活動の場を提供することで、活力ある地域社会づくりの構築に努める。								
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞						
	直接事業費		千円	8,691	9,003	7,912	9,136	【都支出金】 ・人生100年時代セカンドライフ応援事業補助金 【その他特定財源】 ・福祉サービス事業利用者負担金						
	財源内訳	国庫支出金	千円											
		都支出金	千円	5,033	5,272	4,946	5,342							
		地方債	千円											
		その他特定財源	千円	955	1,095	924	1,122							
		一般財源	千円	2,703	2,636	2,042	2,672							
	一般職員人件費		千円	2,454	2,484	2,484	2,552							
		人工数	人	0.30	0.30	0.30	0.30							
	再任用職員人件費		千円											
		人工数	人											
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円											
		人工数	人											
	総事業費		千円	11,145	11,487	10,396	11,688							
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績			
イキイキ・ニコニコ介護予防教室 開催 47回							令和2年度	64回	68回					
参加者数 677人							令和2年度	971人	1083人					
事業の評価	実施方法の妥当性		2	高齢者に就労の機会を多く提供することも事業目的のひとつとしているため、当該講座はシルバー人材センターやNPO法人ひだまりに委託していることより他の方法を検討せず、前年度の方法を踏襲した。										
	実施方法の効率性		3	カラオケ教室と英会話教室の中止があったため令和4年度に比べコストは低下したものの、参加者数は約12%増加した。参加者数の増加は令和5年度に新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、各種制限が緩和されたことが主な理由であると考えられるため、評価は3としたい。										
	達成度（基本施策の実績）		4	基本施策の現状値から増減10%以上を達成しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大時期であったため規模を縮小して実施していることから評価は4としたい。										
	DXへの取組		取組みを推進中				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし					
	個別評価	合計点 9	今後の方向性		(前年度 現状を維持) → E 現状を維持									
			総合評価		新たな参加者が増加したことにより、参加者の増大につながり、本来の目的である介護予防及び高齢者の就労機会の提供に寄与することができた。高齢化に伴い、さらなるニーズの増加を見込んで今後の予算を計上予定。一方で、講師の高齢化も進んでおり、新たな講師の担い手の募集やニーズに応じた新たな教室の創設も視野に入れて、本事業を継続していく。									



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		市民図書館管理運営事務										事業開廃年度		昭和48年度		
														継続		
基本データ	予算科目	款	10	項	04	目	05	細目	003	細々目	01	部	生涯学習部	課長	勝野 玄隆	
		款名	教育費										課	アキシマエンス管理課	担当	小林 愛
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-④ 図書館活動の充実 市民一人当たりの図書貸出冊数を増やします										係	管理係	電話	042-519-2211	
	根拠法令等	図書館法、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準、昭島市民図書館条例、昭島市民図書館運営規則、昭島市教育福祉総合センター条例										個別計画		昭島市民図書館基本方針・基本計画、昭島市子ども読書活動推進計画（R4年度～R8年度）		
	SDG's17の目標	 4 質の高い教育をみんなに										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり） <input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）		
事業の概要	事業概要	対象					目的									
	実施内容	市民図書館の管理運営は「昭島市教育福祉総合センター及び昭島市民図書館の管理に関する基本協定書」及び「昭島市教育福祉総合センター及び昭島市民図書館の管理に関する年度協定書」に基づき指定管理者が行う。指定管理業務について、目的達成に繋がる適切な評価・モニタリングを実施する。また、指定管理者が候補を選定する図書の購入及び廃棄について決定する。														
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞								
	直接事業費		千円	220,036	210,204	209,793	243,551	【その他特定財源】 ・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金繰入金								
	財源内訳	国庫支出金	千円	9,500												
		都支出金	千円	317	330	304	330									
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円	35,104	35,000	35,000	31,200									
		一般財源	千円	175,115	174,874	174,489	212,021									
	一般職員人件費		千円	7,362	7,452	7,452	7,655									
		人工数	人	0.90	0.90	0.90	0.90									
	再任用職員人件費		千円													
		人工数	人													
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円													
		人工数	人													
	総事業費		千円	227,398	217,656	217,245	251,206									
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
市民一人当たりの図書貸出冊数 5.6冊							令和2年度	6.6冊	6.5冊							
市民図書館の登録者数を増やします 市民図書館の登録者数 32,868人 (28.9%)							令和2年度末	43,256人	47,159人							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	指定管理者への評価・モニタリングにおける調査項目や調査方法について、より質の高いサービスに繋げることができている。												
	実施方法の効率性		3	多様化・複雑化している市民のニーズに的確に対応していくため、指定管理者を評価・モニタリングすることで、その能力を有効に活用し、より柔軟で質の高いサービスを提供することができるよう努めた。												
	達成度（基本施策の実績）		5	市民一人当たりの図書貸出冊数 5.6冊 → 6.5冊 (16.1%増) 市民図書館の登録者数 32,868人 → 47,159人 (43.5%増)												
	DXへの取組		取組みを推進中				AI・RPA導入の可能性		導入済み（一部導入を含む）							
	個別評価	合計点	今後の方向性 (前年度 現状を維持) → E 現状を維持													
	総合評価		 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、市民の行動に選択肢が大きく増える中、登録者数の増加及び図書貸出冊数維持という成果を上げることができた。指定管理者へ評価・モニタリング及び必要に応じて助言等を実施することにより、事業の推進に寄与することができた。													



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		アキシマエンス管理運営事務										事業開廃年度		令和2年度		
基本データ	予算科目	款	10	項	01	目	05	細目	001	細々目	01	部	生涯学習部	課長	勝野 玄隆	
		款名	教育費										課	アキシマエンス管理課	担当	小林 愛
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-⑤ 生涯を通じた学習活動の推進 アキシマエンス入館者を増やします										係	管理係	電話	042-519-2211	
	根拠法令等	社会教育法、児童福祉法、昭島市教育福祉総合センター条例、昭島市教育福祉総合センター条例施行規則										個別計画		昭島市民図書館基本方針・基本計画、昭島市子ども読書活動推進計画（R4年度～R8年度）		
	SDG's17の目標	 3 すべての人に健康と福祉を										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務（ <input type="checkbox"/> 市上乗せあり） <input checked="" type="checkbox"/> 任意（ <input type="checkbox"/> 都補助等あり）		
事業の概要	事業概要	対象		目的												
	実施内容	市民 ・市民と情報、市民と市民をつなぎ、あきしまの今を未来につなぐ場・市民一人一人の世界が広がり、交流の輪が広がる場・市民が自ら課題に向き合い、必要とする知識や情報、人とのつながりを見つける場・あきしまの未来を創る市民を育む場をコンセプトに、施設の管理運営を行う。 アキシマエンスの管理運営は「昭島市教育福祉総合センター及び昭島市民図書館の管理に関する基本協定書」及び「昭島市教育福祉総合センター及び昭島市民図書館の管理に関する年度協定書」に基づき指定管理者が行う。指定管理業務について、目的達成に繋がる適切な評価・モニタリングを実施する。														
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞								
	直接事業費		千円	267,270	295,460	278,916	322,720	【その他特定財源】 ・行政財産使用料 ・アキシマエンス使用料 ・庁舎等光熱水費								
	財源内訳	国庫支出金	千円													
		都支出金	千円													
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円	956	1,384	1,305	1,357									
		一般財源	千円	266,314	294,076	277,611	321,363									
	一般職員人件費		千円	7,362	7,452	7,452	7,655									
		人工数	人	0.90	0.90	0.90	0.90									
	再任用職員人件費		千円													
		人工数	人													
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円													
		人工数	人													
	総事業費		千円	274,632	302,912	286,368	330,375									
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
アキシマエンス入館者数 289,004人							令和2年度	375,411人	401,825人							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	指定管理者への評価・モニタリングにおける調査項目や調査方法について、より質の高いサービスに繋げることができている。												
	実施方法の効率性		3	多様化・複雑化している市民のニーズに的確に対応していくため、指定管理者を評価・モニタリングすることで、その能力を有効に活用し、より柔軟で質の高いサービスを提供することができるよう努めた。												
	達成度（基本施策の実績）		5	アキシマエンス（国際交流教養文化棟）入館者数 289,004人 → 401,825人（39.0%増）												
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性	該当事務なし								
	個別評価	合計点	今後の方向性 （前年度 現状を維持 ） → E 現状を維持													
			総合評価		新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、市民の行動に選択肢が大きく増える中、入館者数が増加するという成果を上げることができた。指定管理者へ評価・モニタリング及び必要に応じて助言等を実施することにより、事業の推進に寄与することができた。											

令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		生涯学習推進事業								事業開廃年度		継続			
基本データ	予算科目	款	10	項	04	目	01	細目	005	細々目	01	部	生涯学習部	課長	泉井 桃子
	款名	教育費								課	社会教育課	担当	塩野 淑美		
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-⑤ 生涯を通じた学習活動の推進 生涯学習講座など活動の充実を図り、参加者の学習意欲を広げます								係	社会教育係	電話	内線 2252		
	根拠法令等									個別計画		昭島市教育振興基本計画 (令和4年度～令和8年度)			
	SDG's17の目標	 4 質の高い教育をみんなに								法令による事業 実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	市民				“誰一人取り残さない”を基本にだれもが、いつでも、どこでも気軽に学習し、家庭や地域の学習力を高めるための多様な学習活動が促進されるよう市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習を推進する。									
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	173	253	170	1,222	【その他特定財源】 ・各種講習会受講料							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	30	28	32	28								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	34	31	20	112								
		一般財源	千円	109	194	118	1,082								
	一般職員人件費		千円	7,362	7,452	4,968	5,104								
	人工数		人	0.90	0.90	0.60	0.60								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円			349	350								
	人工数		人			0.10	0.10								
	総事業費		千円	7,535	7,705	5,487	6,676								
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
生涯学習講座などの参加者数 社会教育課主催事業 330人						令和元年度	677	677							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	生涯学習サポーター養成講座の受講生が設立した「昭島市生涯学習サポーターの会まなぶん」のメンバーが協力し生涯学習サポーター養成講座を実施している。「まなぶん」は自主事業のほか、教養で脳トレなどの共催事業の企画・運営を務めるなど、学習したことを地域に還元し、市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習の推進が図られている。また、デジタルデバイス解消のためのパソコン及びスマホ教室等を実施している。											
	実施方法の効率性		3	中高年のためのパソコン講習会では、受講者から受講料を徴収し実施している。また、生涯学習サポーター養成講座への支援や共催事業の企画・運営をまなぶんメンバーが行うなど効率化が図られている。「ゼロから始めるスマホ教室」は地域の高齢者が気軽に参加できるよう市立会館11会館で開催した。											
	達成度（基本施策の実績）		5	生涯学習サポーター養成講座は、平成26年度より実施しており、数名の受講者がまなぶんに参加し自主的な生涯学習活動を行っている。共催事業はまなぶんメンバーが企画することで、多様な講座の実施につながっている。また、デジタルデバイス解消のための初心者のためのスマホ教室は市内に点在する市立会館11館で実施することで受講者が参加しやすい教室となり、多くの高齢者が受講した。											
	DXへの取組		予定なし			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点 11	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
		総合評価		生涯学習サポーター養成講座の受講生が設立した「昭島市生涯学習サポーターの会まなぶん」が自主的な活動を展開しており、共催事業のみならず自主事業も実施するなど市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習の推進に多大なる貢献をしている。また、高齢者等を含む誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう既存の中高年のためのパソコン教室等に加え、高齢者が気軽に参加することができるよう、市立会館11会館において「ゼロから始めるスマホ教室」を実施し、パソコンやインターネット等を日常生活で活用できるよう学習機会の拡大に努めた。											

令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		学級・講座等事業										事業開廃年度		継続	
基本データ	予算科目	款	10	項	04	目	07	細目	004	細々目	01	部	生涯学習部	課長	立川 豊
	款名	教育費										課	市民会館・公民館	担当	森山 陽子
	総合基本計画の体系	4文化芸術、スポーツの振興を図るまち 4-⑤ 生涯を通じた学習活動の推進 生涯学習講座など活動の充実を図り、参加者の学習意欲を広げます										係	事業	電話	042-544-1407
	根拠法令等	社会教育法 市公民館条例 同条例施行規則										法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
	SDG's17の目標	 4 質の高い教育をみんなに													
事業の概要	事業概要	対象 市内在住・在学・在勤の市民 及び他市の市民					目的 市民の実生活に即する生活課題、学術、芸術・文化に関する各種の講座事業等を通し、生活課題の解決や、趣味、教養の向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。								
	実施内容	○市民講座16事業35回 ○市民大学5事業39回 ○地域公民館事業4事業10回 ○交流鑑賞発表のつどい2事業2回（市民文化祭は除く）○自主企画事業2事業9回 ○障がい者青年学級1事業22回 ○研修・講習事業1事業1回 ○利用者懇談事業3事業3回 ○共催事業2事業2回													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	2,366	3,245	2,091	3,382	【その他特定財源】 ・各種講習会等負担金							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	624	873	526	907								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	136	340	143	340								
		一般財源	千円	1,606	2,032	1,422	2,135								
	一般職員人件費		千円	32,720	33,120	33,120	34,024								
		人工数	人	4.00	4.00	4.00	4.00								
	再任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	総事業費		千円	35,086	36,365	35,211	37,406								
	基本施策の現状値										(時点)	R4実績	R5実績	R6実績	
市民会館・公民館主催事業 1,936人										令和元年度	1,585人	1,993人			
事業の評価	実施方法の妥当性		3	講座等の事業は企画運営の多くを職員が担当するが、市民の企画や協働事業等も行うことで、住民参加型の地域と歩む公民館を目指している。社会的課題の解決や市民協働事業などが求められる中、公民館職員にもコーディネート能力が必要であり、地域の行政や住民を良く知る職員の存在が不可欠で実施方法は妥当である。											
	実施方法の効率性		3	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、利用の制限はあえて設けず参加者側の判断によることとしたため、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大前の例年並みに実施できた。市民の学習意欲の要望は高く、今後も関心のあるテーマを取り上げながら、デジタルデバイト対策やオンライン方式を取り入れる等の工夫をしながら継続したい。											
	達成度（基本施策の実績）		3	年間を通じ社会的・地域的生活課題講座や市民ニーズの高い文化芸術等の講座、また子どもを対象とした事業を実施し、学習機会の提供及び文化振興を図ることができ達成度は高い。令和5年度は昭島の環境や福祉、近現代の歴史の講座にニーズが高く、市民として昭島をもっと知りたいという意識が強いことを実感できた。											
	DXへの取組		検討中				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
 達成度（基本施策の実績）		総合評価		主催講座の中には申込開始から1日か2日で定員を超えてしまう講座もあるなど、市民の学習への意欲は高く、学習する機会の提供は重要である。市民との協働を考えた場合に、参加者の高齢化や若年世代の参加の低さが課題である。講座終了後にグループ化し継続して活動をするためには、生活課題や文化教養等の講座を継続して提供する必要があるため、主催講座にオンライン方式を取り入れることも計画し、時代のニーズに合わせた講座を提供したい。											